

平成29年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493700361	事業の開始年月日	平成26年12月1日	
		指定年月日	平成26年12月1日	
法人名	日本アメニティライフ協会			
事業所名	花物語おんだ			
所在地	(227-0062) 横浜市青葉区恩田町3114番地1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成29年9月22日	評価結果 市町村受理日	平成30年2月22日	

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?Open>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本人のこれまでの生活を考慮し、出来るだけ生活の中で取り入れてケアしています。また本人の要望に答え、共同生活のルールを踏まえながら答えて行きます。レクリエーションに関しても、時間を作り実施し余暇の時間を楽しく、安全に過ごせるように、見守って行きます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル3階		
訪問調査日	平成27年10月23日	評価機関 評価決定日	平成29年12月20日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、東急田園都市線「青葉台駅」または「長津田駅」よりバスで、約10分の停留所「苗万坂」から、徒歩2分の場所にあります。周囲を田や畑に囲まれ、住宅や会社が点在しています。また、背後は山林となっており、田園風景が多く残る地域です。建物は、鉄骨造り2階建て、バリアフリーのトイレ、洗面台やエレベーターが設置され、利用者が生活しやすい造りとなっています。

<優れている点>

事業所の看護師を中心に、訪問医、訪問医と共に来る看護師、薬剤師、介護士は普段から連携を密に行い、利用者の健康管理にあたっています。介護の中で不安に感じることや利用者の変化は、介護士から事業所の看護師に相談し、医師にも伝えられています。必要な医療的処置、介護計画の見直しなどを的確に行うことができる体制となっています。職員がゆったりとした気持ちで介護にあたることで利用者もゆったりと楽しい気分になることができ、職員がが疲れていると良い介護はできないという考えに基づき、職員は休暇などが取りやすくなっています。

<工夫点>

日々の介護記録に介護計画を抜粋したメモを貼りつけ、職員がいつでも介護計画を確認できるようにしています。このため、介護計画とケアの実践の連動が分かりやすく、職員も記録が取りやすくなっています。介護記録の情報を職員が共有することにより、介護計画の見直しなどに役立っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語おんだ
ユニット名	1F

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/>	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある
	<input type="radio"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	3, たまにある
	<input type="radio"/>	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/>	2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/>	3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/>	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	3, たまに
	<input type="radio"/>	4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている
	<input type="radio"/>	2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/>	3, あまり増えていない
	<input type="radio"/>	4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/>	2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/>	2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域と一緒に施設作りを考えるために地域の考え等を踏まえ、また施設理念を踏まえたうえで「その人らしく生きる」「意志を尊重し」「あたたかい心を持ち接する」この様な考えを常に持ち、実践に繋げています。	理念は開所時に管理者が中心となり作成しています。職員休憩室に掲示し職員との共有を図っています。利用者一人ひとりのこれまでの生活を尊重しつつ、事業所での生活がスムーズに行くように職員全員が温かい気持ちで利用者を支援できるよう努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	恩田自治会主催や包括主催の行事(どんと焼き・盆踊り等)に参加しています。	自治会に入会し、地域の一員として行事に参加しています。正月に行われるどんと焼きには、利用者、職員で参加し甘酒を振舞われたり、地域ケアプラザで行われるふれあいフェスタに差し入れをしています。近隣の農家から野菜を買ったり、貰ったりしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	オープン当初は、施設見学会・健康祭りを、地域住民を招き交流してきましたが、その後は開催していません。今後に関しては、地域を招いての行事を考えていますが、出来てない状況です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	おおむね、2か月に一度開催し、利用者の状況・行事等を報告しています。報告後、家族・包括・自治会長等より意見を頂きサービス	概ね2ヶ月に1回、家族、地域ケアプラザ職員、自治会長、民生委員の参加を得て開催しています。民生委員からは夏祭りの感想やボランティア募集の仕方などの話が出ています。現在はボランティアとして、踊りのグループなどの協力を得ています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括の職員・自治会長・民生の方々に関しては運営推進会議に会議に参加して頂き、常に情報を共有し意見交換を行っています。	運営推進会議に地域ケアプラザの職員が出席したり、区役所が主催するグループホーム連絡協議会に参加していますが、区役所担当者との日頃の連携はこれからとなっています。	利用者の多様化が進み、事業所だけでは解決できない事柄が出てくることも予想されます。今後は区役所担当者、地域ケアプラザ職員などと細かな情報を交換したり連携を取ることが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設理念で唱えているように、個人を尊重し尊厳が保たれるよう生活されています。事業所所内で研修も行っています。施錠に関しては、今までは事務所内に職員が居る時は、玄関の施錠はしてなかったのですが、先日の障がい者施設の殺傷事件より施錠を行っています。	身体拘束についての研修を年1回行ったり、虐待自己点検チェックを行うなどして、職員の意識の浸透を図っています。職員は利用者の尊厳が保たれるよう、強い口調で話さないように努めています。管理者は職員がゆったりした気持ちで仕事ができるよう、シフトの管理などに気を付けています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関しては、日々のミーティングで虐待防止の事を伝えています。また、研修も行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関しては、常日頃職員に話を行っています。今後も常日頃から職員間で話せる場を設けていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご入居に関しての契約は全て読み合わせを行い、家族が理解しやすい様に説明し、不安なく入居出来るように対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を、2ヶ月一度開催し、家族や外部の包括・自治会などの意見を聞き、解決に努めています。また、面会時も家族とコミュニケーションを図り、要望・意見等を聞き解決に努めています。	年1回、運営推進会議の中で家族会が行われています。家族会の中で家族の意見を聞くようにしています。また、家族の日々の来訪時にも、挨拶をしたり、湯茶出しするなどして話を聞くよう努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のスタッフ会議を実施しています。業務の会議だけでなく、スタッフの意見・要望等を聞き、風通しの良い職場作りに専念しております。	月1回スタッフ会議を開催し職員の意見を聞いています。職員からは、風呂場のタオルを入れるウォールポケットの設置、乾燥機を使ってローテーションを組み布団を干す、パジャマを枕元に置く、などの業務改善に関する意見が出され、実行しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	処遇改善については、給料水準の見直しを行っています。又、個々のレベルにあった仕事をお願いし、やりがいがあるように努めて参ります。また今後、契約社員の呼び名をエリア社員と位置づけ、勤務年数の基準により、昇給制度を設けました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月1回の社内研修を行い、個々のスキルアップに努めています。また本社の研修センターでの、新人導入研修にも新人は参加して頂き、当法人の仕組みや、介護の勉強を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月1回のエリア長会議の実施及び3か月に一度の施設会議を設け、施設間同士で情報共有し問題点をあげ解決しています。職員同士の研修は施設研修を兼ねて交流を図り、スキルアップに繋げていく予定です。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に十分なアセスメントを取りプランを作りスタッフ全員に把握して頂き、入居後に安全に生活して頂く様に支援して頂きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	本人要望・家族の思い・困っている事を十分に把握し本人がどの様に生活を望んでいるか、また家族が何を望んでいるかを考えながら、関係を築いていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	個人情報職員すべてが把握し、本人・家族が何を望んでいるかを早い段階で見極め、計画を立てて行きます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	理念に沿った、個人を尊重し尊厳を保ちながら生活して欲しい。そのためには、本人の趣味・性格等を把握し、本人が退屈しないよう、能力のある方は能力を生かして頂き、その人の要望をできるだけ叶えていきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時にコミュニケーションを図り、又家族へのお便りを活用しながら、情報を家族と共に共有し、家族の要望・利用者の要望を確認しながら支えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会に関しては、時間を決め対応しています。(9:00~18:00)しかし仕事等で決められた時間に面会出来ないのであれば、連絡さえ頂ければ特に問題はありません。外出・外泊も同様です。	利用者と家族の絆が切れないよう手助けをしています。年賀状を出したり、家族の同意を得て電話をかけたり、近所の友人の訪問を受けたりしています。家族との外出に際しては、利用者の薬、衣類などの準備を手伝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	皆で行うレク(風船バレー・歌)などは、全員に声掛けをし、本人の要望を聞きながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了されても、お客様から相談があった場合は対応しております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の要望を踏まえて行っております。(ミルミル・牛乳)また難しい要望に関しては、家族と十分に話し合いをし、出来るだけ要望に答える様にしています。	パジャマの着替えを手伝う時、入浴時など、利用者が1人になった時に話しかけ、利用者の思いを把握するよう努めています。話す内容などを送りノート、連絡帳に記載し、職員間で共有しています。利用者の意向を尊重し、個室で過ごす時間を長くしている利用者もいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人の経歴をファイルし、スタッフ全員で情報を共有し、今後のサービスの向上に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	心身状態は、日々のバイタル測定を実施し健康状態の把握。過ごし方については個人記録・送りノートを活用しスタッフ全員で共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	主治医・看護師・ケアマネ・介護士等で様々な意見を反映しケアプランを作成しています。	看護師、主治医、ケアマネジャー、薬剤師、介護士が普段の生活の中で頻繁に連携を取り、介護計画の作成を行ったり、利用者の医療的措置を行っています。モニタリングでは、家族の希望も聞きながら、利用者にとってより良い介護計画が立てられています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子に関しては、ケース記録・申し送りノート・業務日誌から把握し、会議で情報を共有しケアプランを作成しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	往診日以外でも、体調不良の時は必要に応じて受診対応もしております。また、時間外の面会も許可しております。また、買い物の要望等があった場合には利用者と一緒に買い物をすることもあります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の情報に関しては、自治会の回覧板を回して頂き、行事等には積極的に参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的に入居の際は、当往診クリニックの詳細を説明し要望があればクリニックとの契約を交わして頂いております。月2回の往診です。往診日以外の体調不良に関しては、当施設で対応する場合があります。また体調不良の際は必ず家族に連絡をしております。	入居時には本人、家族の承諾を得て協力往診医をかかりつけ医としております。月2回往診があり医療連携の充実に伴って主治医や看護師と良好な関係を築いています。また急な体調不良などには「緊急時対応の指針」に沿って対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師への申し送りノートを作成し、情報の共有をした中で、利用者様の健康チェックを行っております。また、看護師からの主治医へ情報を報告し利用者様の健康管理を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には、病院関係者・ご家族と連絡を取り情報を把握しています。また、定期的に見舞いを実施しております。退院時には立ち合い、今後のケアの注意点を確認しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期に関しては、契約時に当施設の利用者様の状態が重度化した場合の対応に関する指針と看取りに関する指針を説明し、早期に主治医と家族と連携を取りながら対応するように心がけています。	契約時に重度化や終末期、急変時の救命救急医療の指針を説明し同意を得ています。終末期については主治医と家族、看護師、管理者間で話し合い、家族の協力が得られて事業所でも支援可能な場合にはすみやかに関係者間で連携対応ができるよう努めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応に関しては、マニュアルを作成し、常に見える所に掲示しております。また、定期的研修を行い、周知徹底しております。連絡網も、施設長→Drと連絡し緊急時の対応は万全です。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害時のために、食糧・水の備蓄をしています。避難訓練に関しては、年2回実施し、夜間・昼間を想定して行っていますが、地震等の訓練は行っていないので、今後行う予定です。土砂崩れ等の避難のマニュアルを作成し、緊急避難場所を近隣のあさくら苑に避難できるように書面にて取り交わしを実施しております。	防災訓練は年2回消防署の指導を得て実施しています。今年は土砂災害を想定した避難訓練を行っています。緊急避難場所として近隣の特養施設と「風水害時の一時的な自主避難受け入れ事前確認票」を取り交わしています。また隣接する会社とは昼間における協力体制を構築しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	当施設の理念である、【共同生活の中で、その人らしい部分を尊重し、安全・安心・清潔をベースに笑顔のある生活】を常に考え支援しています。	入居時に提示された生活履歴や利用者からの意思表示をもとに、本人の性格や誇りを汲み上げ、その人らしさを尊重するよう職員に周知させています。声かけや言葉遣いには特に注意をはらっています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、お手伝い・散歩・レクへの参加・お昼寝等は、ご本人の意思を尊重しながら決めて頂く様、支援しております。無理強いはしていません。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様の目線に合わせ、利用者様のペースで何をしたいのか見極め支援させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月ご本人に確認し、カット・パーマ・ヘアダイ等を決めて頂き、毎月訪問美容を実施しております。（希望者のみ）洋服も選べる方は自分の好みで着替えて頂いてます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎日のメニューを掲示し、利用者様がメニューを確認出来る様にしています。食事の準備や方付けに関しては、出来る人、出来ない人が要る為、利用者様の能力によってその都度対応しています。	献立や食材は外部の業者に委託しています。利用者の希望や要望に応えるために外食や出前を利用したり、庭でバーベキューや焼き鳥、茶話会をすることもあります。下膳や後片付けは各人ができることを手伝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食後、水分量・摂取量に関しては日々チェックし記録に記入しています。水分・食事の少ない方に関しては様々な方法で摂取して頂く様に工夫しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアの誘導をしています。自力で出来ない方は職員の支援の下ケアをしています。訪問歯科に関しては、月2回口腔内のチェックを定期的に行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	紙パンツで無い方は、失敗が重なっても、サイクルを把握し誘導し極力状態維持を考えています。安易に紙パンツに替えない様、支援しています。	排泄の個人記録や利用者の動作から排泄のタイミングを把握し、日々の誘導回数を調整しています。尿失禁をなくすことによって本人の尊厳を守れるようにしています。また失敗が重なっても安易に紙パンツに替えないように努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々水分摂取の確認しています。また、要望があればヨーグルト・バナナ・ヤクルトを提供しています。それでも改善出来ないのであれば、医師・看護師と相談し対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日を基本的には決めております。しかし、本人の体調や・要望・拒否等によっては曜日が変わる場合もあります。また、入浴前には必ずバイタルチェックしております。	入浴は週2回、曜日を決めて実施していますが、利用者の体調や要望を確認しつつ臨機応変に対応しています。ヒートショックをおこさないよう浴室内外の温度差に気を付けています。入浴が楽しめるよう入浴剤を使用することもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼夜逆転しない様、適度なお昼寝をして頂く様に支援をしています。また、夜間安眠して頂く様に、定期巡視を行い安全・安心の確保をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時は、必ず二人でチェックを行い服薬者は必ず最後まで飲み込んだかを確認しています。チェック者は薬の名前のご本人に飲ませているかを目で確認しています。基本的に、スプーン飲ませています。手の平ですと、落薬の可能性があるので。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お手伝いが好きな方には、洗濯物を干す・洗濯物をたたむ・食器を拭く等の様々なお手伝いをして頂いています。ご本人の意思を尊重しながら、気分転換出来る様に支援しています。食べ物に関しても要望があれば、スタッフ管理で食べて頂いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お散歩に関して、お天気と相談しながら行っております。時には天気の良い日にはドライブにも出かけております。	天気の良い日には散歩や外気浴を行っています。ドライブに出かけることもあります。地域の行事に参加したり、季節の花見を兼ねて外食に行くこともあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的には、お金は必要有りませんので持つてはいません。しかし、ご要望のある利用者様は家族確認の基、持つている方もいます。ご要望有れば、買い物にも行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	施設への本人宛の郵便物が届いた場合は、速やかに本人に渡しております。また、ご本人から家族へ電話の要望が有った場合は、ご家族確認の基、電話を取り次いでいます。携帯電話を持っている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には、緑が生える様に観葉植物や植木・熱帯魚を置いています。また、フロアには利用者様の作品や出かけた時の写真を貼ってあります。	玄関には観葉植物や熱帯魚の水槽を置き自宅にいるような雰囲気作りをしています。居間には季節感のある作品や写真を飾っています。全体的に整理整頓され利用者の歩行の妨げになるようなものや不快な臭いもありません。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	外に庭を造り、日光浴を出来る様にレイアウトしています。天気の良い日には外でお茶を飲みながら、会話を楽しんでいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内のレイアウトは、家族と相談しながら本人が安全に過ごせるよう決めています。また、馴染みの物や写真を持ち込んで頂いてます。しかし、危険な物に関しては家族了解の基、持ち込みを断っております。	居室内は利用者の日常生活動作を考えながら安全に過ごせるような配置を家族にアドバイスして決めています。利用者は馴染みの家具や写真を持ち込み居心地よく設えています。清掃は職員が毎日行いますが、利用者が一緒にすることもあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	フロア内・お風呂・トイレ等あらゆる所に手すりを設置しています。案内板も設置しています。場所が理解出来ない利用者様にはその都度誘導しています。		

事業所名	花物語おんだ
ユニット名	2F

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/>	1, 毎日ある
	<input type="checkbox"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	3, たまにある
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての家族と
	<input type="checkbox"/>	2, 家族の2/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	3, 家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ毎日のように
	<input type="checkbox"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	3, たまに
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/>	1, 大いに増えている
	<input type="checkbox"/>	2, 少しずつ増えている
	<input type="checkbox"/>	3, あまり増えていない
	<input type="checkbox"/>	4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="checkbox"/>	2, 職員の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 職員の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="checkbox"/>	2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域と一緒に施設作りを考えるために地域の考え等を踏まえ、また施設理念を踏まえたうえで「その人らしく生きる」「意志を尊重し」「あたたかい心を持ち接する」このような考えを常に持ち、実践に繋げています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	恩田自治会主催や包括主催の行事(どんと焼き・盆踊り等)に参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	オープン当初は、施設見学会・健康祭りを、地域住民を招き交流してきましたが、その後は開催していません。今後に関しては、地域を招いての行事を考えていますが、出来てない状況です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	おおむね、2か月に一度開催し、利用者の状況・行事等を報告しています。報告後、家族・包括・自治会長等より意見を頂きサービス		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域包括の職員・自治会長・民生の方々に関しては運営推進会議に会議に参加して頂き、常に情報を共有し意見交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設理念で唱えているように、個人を尊重し尊厳が保たれるよう生活されています。事業所所内で研修も行っていきます。施錠に関しては、今までは事務所内に職員が居る時は、玄関の施錠はしてなかったのですが、先日の障がい者施設の殺傷事件より施錠を行っていきます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関しては、日々のミーティングで虐待防止の事を伝えています。また、研修も行っていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関しては、常日頃職員に話を行っています。今後も常日頃から職員間で話せる場を設けていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご入居に関しての契約は全て読み合わせを行い、家族が理解しやすい様に説明し、不安なく入居出来るように対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を、2ヶ月一度開催し、家族や外部の包括・自治会などの意見を聞き、解決に努めています。また、面会時も家族とコミュニケーションを図り、要望・意見等を聞き解決に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のスタッフ会議を実施しています。業務の会議だけでなく、スタッフの意見・要望等を聞き、風通しの良い職場作りに専念しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	処遇改善については、給料水準の見直しを行っています。又、個々のレベルにあった仕事をお願いし、やりがいがあるように努めて参ります。また今後、契約社員の呼び名をエリア社員と位置づけ、勤務年数の基準により、昇給制度を設けました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月1回の社内研修を行い、個々のスキルアップに努めています。また本社の研修センターでの、新人導入研修にも新人は参加して頂き、当法人の仕組みや、介護の勉強を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月1回のエリア長会議の実施及び3か月に一度の施設会議を設け、施設間同士で情報共有し問題点をあげ解決しています。職員同士の研修は施設研修を兼ねて交流を図り、スキルアップに繋げていく予定です。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に十分なアセスメントを取りプランを作りスタッフ全員に把握して頂き、入居後に安全に生活して頂く様に支援して頂きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	本人要望・家族の思い・困っている事を十分に把握し本人がどの様に生活を望んでいるか、また家族が何を望んでいるかを考えながら、関係を築いていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	個人情報職員すべてが把握し、本人・家族が何を望んでいるかを早い段階で見極め、計画を立てて行きます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	理念に沿った、個人を尊重し尊厳を保ちながら生活して欲しい。そのためには、本人の趣味・性格等を把握し、本人が退屈しないよう、能力のある方は能力を生かして頂き、その人の要望をできるだけ叶えていきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時にコミュニケーションを図り、又家族へのお便りを活用しながら、情報を家族と共に共有し、家族の要望・利用者の要望を確認しながら支えていきます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会に関しては、時間を決め対応しています。(9:00~18:00)しかし仕事等で決められた時間に面会出来ないのであれば、連絡さえ頂ければ特に問題はありません。外出・外泊も同様です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	皆で行うレク(風船バレー・歌)などは、全員に声掛けをし、本人の要望を聞きながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了されても、お客様から相談があった場合は対応しております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の要望を踏まえて行っております。(ミルミル・牛乳)また難しい要望に関しては、家族と十分に話し合いをし、出来るだけ要望に答える様にしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人の経歴をファイルし、スタッフ全員で情報を共有し、今後のサービスの向上に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	心身状態は、日々のバイタル測定を実施し健康状態の把握。過ごし方については個人記録・送りノートを活用しスタッフ全員で共有しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	主治医・看護師・ケアマネ・介護士等で様々な意見を反映しケアプランを作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子に関しては、ケース記録・申し送りノート・業務日誌から把握し、会議で情報を共有しケアプランを作成しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	往診日以外でも、体調不良の時は必要に応じて受診対応もしております。また、時間外の面会も許可しております。また、買い物の要望等があった場合には利用者と一緒に買い物をすることもあります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の情報に関しては、自治会の回覧板を回して頂き、行事等には積極的に参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的に入居の際は、当往診クリニックの詳細を説明し要望があればクリニックとの契約を交わして頂いております。月2回の往診です。往診日以外の体調不良に関しては、当施設で対応する場合があります。また体調不良の際は必ず家族に連絡をしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師への申し送りノートを作成し、情報の共有をした中で、利用者様の健康チェックを行っております。また、看護師からの主治医へ情報を報告し利用者様の健康管理を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には、病院関係者・ご家族と連絡を取り情報を把握しています。また、定期的に見舞いを実施しております。退院時には立ち合い、今後のケアの注意点を確認しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期に関しては、契約時に当施設の利用者様の状態が重度化した場合の対応に関する指針と看取りに関する指針を説明し、早期に主治医と家族と連携を取りながら対応するように心がけています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応に関しては、マニュアルを作成し、常に見える所に掲示しております。また、定期的研修を行い、周知徹底しております。連絡網も、施設長→Drと連絡し緊急時の対応は万全です。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害時のために、食糧・水の備蓄をしています。避難訓練に関しては、年2回実施し、夜間・昼間を想定して行っていますが、地震等の訓練は行ってないので、今後行う予定です。土砂崩れ等の避難のマニュアルを作成し、緊急避難場所を近隣のあさくら苑に避難できるように書面にて取り交わしを実施しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	当施設の理念である、【共同生活の中で、その人らしい部分を尊重し、安全・安心・清潔をベースに笑顔のある生活】を常に考え支援しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、お手伝い・散歩・レクへの参加・お昼寝等は、ご本人の意思を尊重しながら決めて頂く様、支援しております。無理強いはしていません。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様の目線に合わせ、利用者様のペースで何をしたいのか見極め支援させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月ご本人に確認し、カット・パーマ・ヘアダイ等を決めて頂き、毎月訪問美容を実施しております。（希望者のみ）洋服も選べる方は自分の好みで着替えて頂いてます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎日のメニューを掲示し、利用者様がメニューを確認出来る様にしています。食事の準備や方付けに関しては、出来る人、出来ない人が要る為、利用者様の能力によってその都度対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食後、水分量・摂取量に関しては日々チェックし記録に記入しています。水分・食事の少ない方に関しては様々な方法で摂取して頂く様に工夫しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアの誘導をしています。自力で出来ない方は職員の支援の下ケアをしています。訪問歯科に関しては、月2回口腔内のチェックを定期的に行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	紙パンツで無い方は、失敗が重なっても、サイクルを把握し誘導し極力状態維持を考えています。安易に紙パンツに替えない様、支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々水分摂取の確認しています。また、要望があればヨーグルト・バナナ・ヤクルトを提供しています。それでも改善出来ないのであれば、医師・看護師と相談し対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日を基本的には決めております。しかし、本人の体調や・要望・拒否等によっては曜日が変わる場合もあります。また、入浴前には必ずバイタルチェックしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼夜逆転しない様、適なお昼寝をして頂く様に支援をしています。また、夜間安眠して頂く様に、定期巡視を行い安全・安心の確保をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時は、必ず二人でチェックを行い服薬者は必ず最後まで飲み込んだかを確認しています。チェック者は薬の名前のご本人に飲ませているかを目で確認しています。基本的に、スプーン飲ませています。手の平ですと、落葉の可能性があるので。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お手伝いが好きな方には、洗濯物を干す・洗濯物をたたむ・食器を拭く等の様々なお手伝いをして頂いてます。ご本人の意思を尊重しながら、気分転換出来る様に支援しています。食べ物に関しても要望があれば、スタッフ管理で食べて頂いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している。	お散歩に関して、お天気と相談しながら行っております。時には天気の良い日にはドライブにも出かけております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的には、お金は必要有りませんので持ってはいません。しかし、ご要望のある利用者様は家族確認の基、持っている方もいます。ご要望有れば、買い物にも行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	施設への本人宛の郵便物が届いた場合は、速やかに本人に渡しております。また、ご本人から家族へ電話の要望が有った場合は、ご家族確認の基、電話を取り次いでいます。携帯電話を持っている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には、緑が生える様に観葉植物や植木・熱帯魚を置いています。また、フロアには利用者様の作品や出かけた時の写真を貼ってあります。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	外に庭を造り、日光浴を出来る様にレイアウトしています。天気の良い日には外でお茶を飲みながら、会話を楽しんでいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内のレイアウトは、家族と相談しながら本人が安全に過ごせるよう決めています。また、馴染みの物や写真を持ち込んで頂いてます。しかし、危険な物に関しては家族了解の基、持ち込みを断っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	フロア内・お風呂・トイレ等あらゆる所に手すりを設置しています。案内板も設置しています。場所が理解出来ない利用者様にはその都度誘導しています。		

平成29年度

目標達成計画

事業所名 花物語 おんだ

作成日： 平成 30年 2月 19日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 58	職員不足により、外出行事が計画的に実施できない。	月1回、必ず外出行事を実施して行く。	求人広告、紹介等で人員不足を補っていきます。人員が確保できた時点で、担当者を決め計画的に出来るように改善します。	6ヶ月
2		日々の業務に追われ、レク等を実施するのが疎かになっている。	散歩等を必ず行う。一日最低4人を目標にします。また、リハビリ体操を毎日行います。	一日の作業の流れをもう一度考え、無駄な動きがないかを検討し、効率の良い支援を考え時間を作り、目標を達成していきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月